

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月10日

事業番号	6290	担当課等	図書館							
事務事業名	子ども読書活動推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	3	事業開始年度	平成17年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の向上	④子どもたちに対するサービスの推進				
関連する個別計画	第四次湯河原町子ども読書活動推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	図書と親しむきっかけを作り、乳幼児から学齢期の読書活動の基礎となる本を読む習慣を定着させる。								
対象	おおむね18歳以下								
内容	第四次湯河原町子ども読書活動推進計画に基づき、ブックスタートでは4か月児に、セカンドブックでは小学校新1年生に対して本を贈呈し、また、ブックリストやたくさんよんだね手帳の配布、子ども読書まつりの開催等により子どもが本に接し、読書に親しむための機会の提供と環境づくりを行う。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		205,635	267,961	262,636		
	人件費	常勤職員	656,370	583,132	687,539		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	656,370	583,132	687,539		
	総事業費		862,005	851,093	950,175		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		862,005	851,093	950,175		
	財源合計		862,005	851,093	950,175		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
ブックスタート配布率			配布者数/対象者数	%	100	100	100
セカンドブック配布率			配布者数/対象者数	%	100	100	100
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
児童図書の貸出点数			児童図書の利用状況	点	18039	19610	21500
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原町子ども読書推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進することを目的としていることから、町が直接実施すべきだと考える。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	活字離れ等の傾向が見られる中、親子の読み聞かせや、読書のきっかけを作った。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	図書に親しむきっかけ作りに加え、本を介した家庭内でのコミュニケーションの増進が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	小学校や保健センターと連携し、対象者を把握し実施した。転入児童にも配布している。
令和4年度までの自己評価または改善点		小学校においてブックトークを実施し、学校巡回文庫や学校司書と情報共有を図るなど学校図書館の活性化に寄与することができた。また、中止していたおはなし会などの読み聞かせや子ども読書まつりを再開し、子どもの読書活動のきっかけを作ることができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	子ども読書に関わる機関の連携を行政が中心となり調整しており、また、子ども読書活動推進協議会が事業の推進を担っているため、事業は町が実施する必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	関係部署と連携を図り、学校巡回文庫における書籍の選定や、夏休み子どもイベント「としょかんたんけんたい」の実施回数等を見直し、子どもの読書活動の推進を図っていきたい。	
令和6年度以降の方向性	第四次湯河原町子ども読書活動推進計画に基づき、「学校図書館の活性化」、「うちどく(家読)の推進」及び「本に接する機会の提供」を取組の重点としてさらに進めていく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	第四次湯河原町子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが本に接し、読書に親しむための機会の提供と環境づくりを引き続き行うこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月27日

事業番号	6286	担当課等	図書館							
事務事業名	図書館施設整備事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	3	事業開始年度	平成25年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯学習	(3) 図書館施設・運営の充実	①図書館施設整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	建物及び附属設備の老朽箇所を改修・更新することにより安全性と利便性を確保し、町民及び利用者にとって安全・安心で使い易い図書館運営を行うこと。								
対 象	町民及び図書館利用者								
内 容	【令和元年度】展示パネル購入 【令和3年度】防水工事、消防設備改修工事 【令和4年度】トイレタイル改修工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分	事業費	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
コスト	人件費	37,400		36,560		0	
	会計年度任用職員等						
	人件費合計	37,400		36,560		0	
	総事業費	4,376,900		845,060		0	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	4,376,900		845,060		0	
	財源合計	4,376,900		845,060		0	
活動指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
利用者延べ人数		利用者の延べ人数		人	35938	36030	42000
					0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
人口1人当たりの貸出点数		年間貸出総点数/人口		点	4.5	4.3	5
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	図書館は町直営により運営しているため、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	竣工から40年以上を経過しており、建物及び附属設備の老朽箇所について、優先順位を考慮して実施したい。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	優先順位を考慮した改修の実施により、建物及び附属設備の安全性及び利便性が高められる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	建物及び附属設備の改修により、来館する町民及び利用者が安心して継続的に図書館を利用することができる。
令和4年度までの自己評価または改善点		図書館の開館を確保しながら建物及び附属設備の改修を実施するにあたり、町民及び図書館利用者への影響をなるべく避けるため、休館日を有効的に活用する等、施工日及び施工方法に配慮した。事業予算化せずに経常費修繕料で修繕した箇所もある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	図書館は町直営方式により管理・運営することで関係機関との連携が図られ、行政イベントや関係団体と連携した事業の実施がスムーズに行えるため町が実施する必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	点検による不具合箇所や設備の破損箇所について修繕を行っていく。	
令和6年度以降の方向性	湯河原町公共施設個別施設計画において、施設のあり方を検討していく中で、建物及び附属設備の状態により、優先順位を考慮しながら、必要に応じて修繕や改修を行っていく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	建物及び附属設備の老朽箇所を改修・更新することにより安全性と利便性を確保し、町民及び利用者にとって安全・安心で使い易い図書館運営を引き続き行うこと。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月27日

事業番号	6268	担当課等	図書館							
事務事業名	図書館資料整備事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	3	事業開始年度	平成12年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯学習	(3) 図書館施設・運営の充実	②図書館資料の充実				
関連する個別計画	第四次湯河原町子ども読書活動推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	多様化する町民のニーズに沿った図書館資料を収集し、利用者へ提供することにより生涯学習へ資する。								
対 象	町民及び図書館利用者								
内 容	豊富で幅広い図書、視聴覚資料を収集し提供する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		4,498,383		4,018,169	
コスト	人件費	751,740	734,856	779,723		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	751,740	734,856	779,723		
	総事業費	6,531,759	5,233,239	4,797,892		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	6,531,759	5,233,239	4,797,892		
	財源合計	6,531,759	5,233,239	4,797,892		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
年間図書購入点数		年間図書購入点数	点	2269	2423	2800
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
人口1人当たりの貸出点数		年間総貸出点数/人口	点	4.1	4.3	5
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	教育や文化の醸成は、行政が直接、公的責任のもとで行ったほうがよいと考える。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	図書館資料の収集によって、幅広く多様なニーズに応えることができたと考える。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	情報提供や文化的な生活を支えるものとして、図書館資料は有効であると考ええる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	全町民を対象としており、乳幼児から高齢者まで幅広い層のニーズに沿った資料を選定、収集している。
令和4年度までの自己評価または改善点		週に1回、新刊情報やリクエスト、書評などから判断し購入する本を選んでいる。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	令和2年度から窓口業務を民間事業者へ委託したが、図書館の運営と選書及び購入は町直営で実施している。
令和5年度の見直し及び改善予定	購入が難しい図書についても、他館との相互貸借制度も利用して、できるだけ利用者のリクエストや図書館資料の提供に応えていきたい。	
令和6年度以降の方向性	図書館資料については、今後も町民のニーズを見極め、資料を収集し提供する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	図書資料の収集及び整備は、図書館の主幹業務の1つであり、多様化する利用者のニーズに応え、生涯学習に資するものであるため、引き続き行うこと。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------